

令和6年第4回(12月)大郷町議会定例会一般質問通告書

目 録

1. 石垣 正博 議員
 - 1) 情報化社会に合わせた学習環境の整備を
 - 2) 外国籍の受入れについての学校の対応は
 - 3) 欠席中(不登校)の学習を成績に反映
2. 金須 新一 議員
 - 1) 危険ブロック塀の早期解消を
 - 2) 昭和時代に建設された公共施設の今後は
3. 赤間 則幸 議員
 - 1) 道の駅の集客向上について
 - 2) 地域公共交通の更なる充実を
4. 鈴木 恵子 議員
 - 1) 町道の維持・管理について
 - 2) 健康づくりについて
 - 3) 受診率向上について
5. 鎌田 暁史 議員
 - 1) スマートスポーツパーク構想について
 - 2) 町有財産の利活用について
 - 3) P F A Sによる環境汚染問題について
6. 鈴木 利博 議員
 - 1) 小学校 通学時のヘルメット着用
 - 2) 「おおさと地域振興公社」の独立を
 - 3) 「パストラル縁の郷」の売却を
7. 佐々木 和夫 議員
 - 1) 畜産経営に関わる飼料高騰及び販売価格低迷について
 - 2) スマートスポーツパーク構想の進捗状況について
8. 赤間 繁幸 議員
 - 1) パストラル縁の郷について
 - 2) 公共交通について
9. 田中 三恵子 議員
 - 1) 带状疱疹予防について
 - 2) 肺炎予防について

通 告 要 旨	備 考
1. 情報化社会に合わせた学習環境の整備を 現在の生活において、ITなどの知識は必要不可欠である。その変化に合わせてICT教育の教育環境を整え、ICTを活用していけるようにする事がGIGAスクール構想の目的である。 構想のハード面では、確かに子供たち一人一人にタブレットが配布され充実した。しかし、すでに構想が始まって3年以上となる。果たしてソフト面はどうか。授業のやり方、先生方の校務の改革に十分役立っているのか本町の現状について伺う。	一問一答方式
2. 外国籍の受入れについての学校の対応は 近年、全国の小・中学校において外国籍の子供たちが増加している。本町に於いても今後、増加するものと考え。宗教・給食・文化等違った様々な環境の国から来る事から課題も多く、受け入れる学校側も対応が非常に難しくなっている。日本語を理解出来ない子供も多くいる事と思う。 そのような子供たちに対して、本町はどのような支援を行っているのか伺う。	
3. 欠席中(不登校)の学習を成績に反映 不登校の児童生徒支援として、欠席中に行った学習の成果を成績に反映出来ることを法律上明確化するとして、学校教育法施行規則を改正したと新聞に掲載された。 この事について、本町のこれまでの対応と、今後どのような影響が考えられるのか伺う。	

通 告 要 旨	備 考
1. 危険ブロック塀の早期解消を 町内には、小学校を中心とした概ね半径500mのスクールゾーンに、危険ブロック塀と称されるブロック塀が存在する。2018年6月18日午前8時頃発生した、大阪北部地震で大阪府高槻市在住の小学4年生の女兒1名が、通学途中ブロック塀の下敷きになり亡くなった。これまでも令和2年8月、令和3年11月発行の議会だよりの追跡レポートや、本年9月定例議会開催中の決算審査内においても危険ブロック塀の早期解消を要望してきた経緯がある。早期に解消すべきと考えるが、以下の点について伺う。 (1) 現状スクールゾーン内に254mにわたって危険ブロック塀が存在している。町はこの現状をどのようにとらえているか伺う。 (2) 今後該当エリア対象者にどのようにアプローチしていくのか伺う。 (3) 令和6年度から解体に関わる補助金を増額している。補助金の上限を期間限定で解除し、早期解消すべきと考えるが、町の考えを伺う。	一問一答方式
2. 昭和時代に建設された公共施設の今後は 令和6年3月改定した大郷町公共施設等総合管理計画によると、大規模改修が必要と考えられる築30年以上を経過する建物の延べ面積は、21,273.2㎡で全体の61.3%を占めているが、どの施設をいつ頃更新する予定など、具体的には示されていない。現時点において唯一計画が明らかになっているのは、役場本庁舎が令和11年度を目標に更新予定とのことである。以下の点について伺う。 (1) 町民体育館、大松沢社会教育センター体育館、旧大松沢小学校、文化会館、B&G海洋センター等は今後どのように更新していくのか伺う。 (2) 役場本庁舎を更新する際、長期的な費用対効果を検討すると同一敷地内に公共施設を複合化した施設（図書館・歴史民俗資料館・集客ホール等）を併設するべきと思うが町の考えを伺う。 (3) 建築後45年が経過し、大松沢社会教育センター体育館が雨漏れしている状況にある。屋根を修繕するのに高額な費用が必要と聞いている。更新するのか、修繕するのか町の考えを伺う。	

通 告 要 旨	備 考
1. 道の駅の集客向上について 物産館駐車場は使い勝手が悪いと思われる。土日は、特に来客数が多いが普通車の止めるスペースが少ない。せっかく買い物に来るお客様が素通りしていくようにも見受けられる。こういった状況を打破しお客様を呼び込み、交流人口を増やすために、開発センターや物産館の有効活用が求められる。年間約60万の利用者があるが、その数字を伸ばすためには、入りやすい駐車場にすることが大事だと考える。また、現在の駐車場配置では、建物前の普通車用の駐車スペースが、足りないように思う。 (1) 現在の駐車場配置を変えて、現在の入り口を変更し消防署方面裏手より道をつなぐような、出入り口を考えてみてはどうか伺う。 (2) 大型車の駐車場を西側へ移し、普通車用の駐車スペースを確保する事は出来ないものか伺う。 (3) 既存の建物を活かして入浴施設を造ってはどうか伺う。	一問一答方式
2. 地域公共交通の更なる充実を 高齢化社会が進む中、近い将来その世帯内で運転する者がいなくなる可能性が多くなっていくと思われる。そのような中で、無理な運転をしてしまう方々が増えて大きな惨事を招いてしまうかもしれない。そのようなことが起きる前に公共交通機関の更なる充実する運行形態を考えるべく、町民からのアンケートを取って対策を講じていかなければ、時間だけが過ぎてしまい何も変わらないのではないのか。また、今問題になっている運転手不足は大丈夫なのか。 (1) 運行形態が更なる利便性向上のため、どのような対策を講じていくのか伺う。 (2) 今までの、路線の見直しをし、新たな経路を考えてはどうか伺う。 (3) 町民が求めている交通機関となり、役割を果たしているのか伺う。	

通 告 要 旨	備 考
1. 町道の維持・管理について 町内においては、春先から秋にかけて、町民の方々のご協力により、除草作業やゴミ拾いが行われている。高齢化が進む本町で、町民の方々の負担軽減も考慮しつつ、さらに、「きれいな町 大郷町」を目指していくべきではないか、町の考えを伺う。 (1) 道路パトロールカーによる巡回の頻度や役割について伺う。 (2) 縁石回りの草が多数見受けられる、そのまま手付かずにしておいたならば、いずれ道路の修繕費が嵩むのでは。所見を伺う。	一問一答方式
2. 健康づくりについて 100歳まで生きるのが当たり前という「人生100年時代」と言われている。しかしながら、“平均寿命”と“健康寿命”には大きな隔りがある。長く健やかに生活していただくための、本町の取り組みについて伺う。 (1) B&G海洋センターには、トレーニング機器3台が設置されているが、今後、新しい機器の導入など検討されているのか。町の考えを伺う。	
3. 受診率向上について (1) 健康診査やがん検診は、病気の早期発見・早期治療につながる。町民の方々の健康維持や、受診率向上のために、現在、健保組合別や年代別である検診料を、一律無料化にする考えはないのか。町の考えを伺う。	

通 告 要 旨	備 考
1. スマートスポーツパーク構想について (1) 第2回住民説明会の資料によると、「用地費と測量費を除く町が支出する委託費や工事費などの事業費の財源は、寄付された企業版ふるさと納税を活用し、町民の税金は使用しない予定です」との記載がある。企業版ふるさと納税による寄付の見込みはどうなっているのか伺う。 (2) スポーツX株式会社の概算工事費は12億9,800万円であるが、サッカーグラウンドの施工に関する追加費用や下水処理の負担などにより当初の金額から増加する可能性がある。スポーツX株式会社が負担しきれない分について町の負担となるのではと心配する声がある。町の負担は増えない認識で合っているか伺う。 (3) 10月25日の事業報告会において、住民アンケートの予算は現有予算（総務管理費）で対応し、本来の支出のための予算が不足する場合は補正予算を提案するとの説明があった。住民アンケートの費用総額と総務管理費に不足が生じるかどうかの見込みについて伺う。	一問一答方式
2. 町有財産の利活用について (1) 9月6日の補正予算審議にて「緑の郷」のテレワーク施設の稼働ができない場合にデジタル田園都市国家構想交付金の返還について担当課から言及があった。今後、どのように対処するのか伺う。 (2) 「緑の郷」は指定管理期間が9月30日までとなり、休業中となっている。今後の運営方針はどのようなになっているのか伺う。 (3) 保健センター前の駐車場に新電力株式会社が設置した太陽光発電施設について、施設の所有者が変更になったとの情報がある。どのような経緯なのか、詳細について伺う。	
2. PFASによる環境汚染問題について (1) 人体に有害な影響を与えるとされる有機フッ素化合物（PFAS＝ピーファス）による環境汚染が問題となっている。この問題について、町の見解を伺う。 (2) 環境省はPFASについて現行の「暫定目標値」から水道法上の「水質基準」の対象に格上げする方向で検討している。格上げされた場	

合、市町村が運営する上水道事業に対しては「水質検査」が義務付けられる。町としては具体的にどのような対応を想定しているか伺う。 (3) 河川、ため池等の水質検査項目（計量項目）に PFAS の測定を追加すべきと考える。町の認識を伺う。	
--	--

通 告 要 旨	備 考
1. 小学校 通学時のヘルメット着用 現在、大郷小学校児童が通学する際、自転車以外で通学する児童は、ヘルメットの着用をしていない。このことは、当たり前の光景に見えるものの、児童のヘルメット着用には交通事故や事故死を減らす効果があるとの事。未来ある児童を守るために、ぜひ大郷小学校においてもとりいれてみてはどうか。	一問一答方式
2. 「おおさと地域振興公社」の独立を 昨今の物価高の影響により、町民の可処分所得が減り、日常生活に影響を受ける人が増加しそうな背景のもと、「振興公社」のあり方について伺う。 (1) 今後も町民の税金を、「振興公社」の赤字埋め合わせに使うのは、町民に対し理解できないものとする。町長の所見を伺う。 (2) 「振興公社」の完全独立を実施する時期とする。町長の所見を伺う。	
3. 「パストラル縁の郷」の売却を 「縁の郷」は、本当に大郷町に必要なものなのか。 (1) そもそもの事業スキームにおいて、赤字になるのを承知の上、これまで町で維持してきたものの、今後の修繕費や利用状況を鑑みると、そろそろ売却をして方がいいのでは。町長の所見を伺う。 (2) 昨今の物価高の影響により、町民の可処分所得が減り、日常生活に影響を受ける人が増加しそうな背景のもと、町民の税金をこれ以上無駄な「縁の郷」に費やすことはできない。町長の所見を伺う。	

通 告 要 旨	備 考
1. 畜産経営に関わる飼料高騰及び販売価格低迷について 畜産農家が飼料価格の高騰及び子牛価格・枝肉販売価格の低迷が長年続いている。このことは、畜産経営を圧迫し再生産が困難な状況にあり、今後の方策について所見を伺う。 (1) 令和6年9月の定例会において、宮城県やJA等と連携し予算措置と支援策の拡充を要望しているとの答弁であったが、現在の進捗状況を伺う。 (2) 畜産農家の経営状況が芳しくないということは、事業継承も困難と思われるが、今後の後継者問題について本町の所見を伺う。 (3) 本町で生産された大郷産牛の消費拡大戦略について、今後、どのように行っていくのか所見を伺う。	一問一答方式
2. スマートスポーツパーク構想の進捗状況について 令和6年11月14日に住民アンケート調査結果の概要が示されたが、意見をどのように捉えているのか所見を伺う。また、令和5年3月定例会、令和6年4月臨時会、令和6年9月定例会において、それぞれ予算案が可決されたが現在、事業の進捗状況を伺う。 (1) 進めた方が良い等の意見 50.26%、やめた方が良い等の意見 37.18%の結果となり、進めた方が良いが半数をほぼ上回っているが、執行部として、この結果をどのように捉えているのか。また、執行部提案の議案が2度否決されている現状や住民アンケート調査結果を踏まえて、計画を遂行するのか、計画を中止するのか、今後、事業のありかたについて所見を伺う。 (2) 令和5年3月定例会において、復興まちづくり計画検討業務費 1,911万8,000円が可決、令和6年4月臨時会において、旅費・消耗品等を含めた測量設計費 2,588万7,000円が可決、令和6年9月定例会において、測量設計業務費 5,450万4,000円が可決されているが、現時点において、それぞれの予算の執行状況及び事業の進捗状況等を伺う。	

通 告 要 旨	備 考
1. パストラル縁の郷について サテライトオフィスが完成したにもかかわらず、株式会社ラトリエが撤退し、10月から休業している「縁の郷」を町はどのようにしていく考えなのか伺う。	一問一答方式
2. 公共交通について 本町では「住民バス・スクールバス・通園バス・ふれあい号」などで、町民の交通の利便性を高めているが、それぞれが抱える課題や改善案について伺う。	

通 告 要 旨	備 考
1. 带状疱疹予防について (1) 令和6年4月から本町において実施されている带状疱疹ワクチン公費助成事業において、全体の接種人数、年齢層別の接種人数、生ワクチン・不活性化ワクチンの選択比率など、現在の接種実績について伺う。 (2) 国において来年度定期接種化が了承され、接種年齢は65歳と報道されている。50歳以上を助成対象とする本町の現行制度を維持すべきと考えるが、定期接種化後の対象年齢について町長の所見を伺う。 (3) 本町では現在、接種費用の概ね5割(10,000円×2回)を公費で助成している。定期接種後は国の公費補助が3割と予測される。住民の自己負担額が変わらないよう、町としてあと2割の助成を設定される考えがあるか、町長の所見を伺う。	一問一答方式
2. 肺炎予防について 65歳を超えると肺炎による死亡率が上昇するとされ、医療費や介護への影響なども大きな課題となっている。肺炎を引き起こすウイルス感染症として、新たにRSウイルス感染症が注視されている。 (1) インフルエンザと比較して、RSウイルス感染症は、肺炎のリスクは高く、入院期間も長い。肺炎球菌とともにRSウイルス感染症についても疾患の周知と感染予防への注意喚起が必要と考えるが、本町の取り組みについて町長の所見を伺う。 (2) RSウイルスワクチンが日本でも承認され、令和6年1月から接種可能となったが、接種費用が2万円以上と高額で、現在は全額自己負担となっている。少しでも接種しやすいように、本町として公費助成を検討していただきたいと考えるが、町長の所見を伺う。	